

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和 7年 6月 30日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県佐賀市唐人1丁目1-14
団 体 名 特定非営利活動法人フードバンクさが
代表者職・氏名 理事長 干潟 由美子
電 話 番 号 0952-37-1300

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和6年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和6年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人フードバンクさが
- 2 事業実施期間 : 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

3年以上にわたった新型コロナの感染拡大は一旦終息を迎えましたが、コロナ禍の影響は大きく、更には物価高騰等が生活に追い打ちをかけています。
食支援の相談も増加傾向にあり、フードバンクさがでは食の支援を入口とした地域での包括的な支援で支えていけるように、各関係機関との連携をすすめてまいります。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

増加傾向にある食支援に応えるため、食品の受入拡大に努めました。
全国の企業や団体から65.5tの食品を寄贈いただき、県内の食支援団体を通じて、76,417人の方に食品をお届けすることができました。
これにより、県内の地域に根差した活動を行っている団体の活動を支援し、地域福祉の向上に寄与しました。
また、食品ロス啓発活動に積極的に参加し、県民の方々へ環境問題への理解を深め、家庭からの食品ロスを有効活用できるよう、フードドライブの実施を拡大しました。37団体から約5トンの食品寄贈があり、一人一人が行動に移すきっかけになっています。
活動を通じ、地域住民や地域の多様な主体が関わることで、人と人、地域資源と人とをつなげていく、重層的な支援の輪の中に、利用しやすいライフラインとして地域に根差し、「食」を入口として公的な支援に繋ぐことができるよう、今後も取り組みをすすめていきます。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		1,397,400
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	1,397,400
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	1,397,400
	前年度控除額(県事務経費)還付分	0
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		1,397,400
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	1,123,775
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	273,625
	返礼品等の調達に係る費用	108,969
	返礼品等の送付に係る費用	28,476
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	136,180

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	0
-------------------------------------	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://fb-saga.org>